ICT教育を充実させるため 教員の研修を行っています

ICT教育の効果を最大限に得るためには、機器を取り揃えるだけではなく、実際に使用する教員がいかにICTを活用できるかが重要です。市内の各小中学校からICT支援リーダーとして選任された32人が、指導力の向上と児童生徒のさらなる学力向上を目指し、スキルアップに努めています。

▲授業でのICT機器の活用法について学びました

▲各学校での取り組みをグループで共有しました

参加した教員の声

端末の操作など、ICT 機器の取り扱いに苦手意識を持っている先生もいると思います。私も慣れるまでは時間がかかりましたが、機器に触れる時間をしっかり確保し、操作に慣れることで、今後の有効活用につながると思っています

古河第五小学校 / 大沢直之先生

参加した教員の声

ICT 機器を使った授業に最初は戸惑う児童も多かったのですが、続けていく中で、児童の ICT 活用スキルは確実に向上していきました。何より、楽しみながら笑顔で授業に参加している児童たちの姿を見ることができて嬉しいです

上大野小学校 / 野澤惠先生

ICT教育のここは大丈夫？

ウイルスに感染するような危険なサイトに子どもたちがアクセスしてしまうことはないのでしょうか？

安心してください。管理ツールによって自動的に不正や危険なコンテンツと判断されたWEBサイトについては、アクセスとダウンロードを制限しています

学校教育施設課 / 宇津木主事

文字を書く機会が減ることで、漢字が書けない、文章が作れないなど「書く力」が低下するのでは？

文字を書く機会を持たせるよう、ICTをバランスよく取り入れた授業を進めています。また、資料提示の時間の削減により、ノートやワークシートに書く時間を生み出すことができます

指導課 / 中根指導主事

ICT教育を進めるために 整備しました

■ICT機器

Chromebook	…8,296台
iPad	…1,964台
モバイルルータ	…1,000台
大型デジタルテレビ	… 339台

■校内の無線LAN環境の整備
令和2年度に全校整備済み

ICT教育を進めたことで ICT機器活用による主な効果

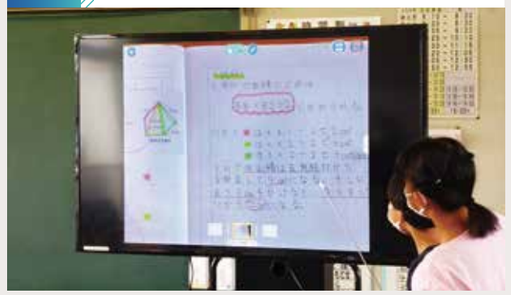
01 拡大表示して情報を共有

教科書やノートなどを電子黒板に拡大表示することで、情報を共有することができ、明確な指示を出すことが可能です。

02 思考活動の充実

書くことが苦手な児童生徒でもタブレット等で簡単に入力することが可能になるため、最後まで授業に集中できるようになります。

03 相手に伝わる説明・発表



説明や発表を言葉だけでなく、映像や画像と組み合わせることで、より具体的に相手に分かりやすく伝えることができるようになります。

04 板書・ノートの充実

機器の活用で資料の提示が容易になり、児童生徒の視覚に訴える板書構成ができるほか、資料の準備や提示にかかる時間の削減につながります。